

国連持続可能な開発のための教育の10年(DESJ)の年

あけましておめでとうございます。

本年は、「国連持続可能な開発のための教育の10年」と定めて10年目となります。2002年の持続可能な開発に関する世界首脳会議を踏まえ、2005年から2014年の10年間、世界各国でESDの取り組みが行われてきました。本年はESDに関する世界会議が11月愛知・名古屋、岡山で開催されます。

大牟田市でも毎年行われているユネスコスクール子どもサミットは、各学校の1年間の取組を発表し、回を増すごとに各学校の工夫が見られました。今後さらなる充実を目指し、地球的課題を身近な生活から何ができるかを「子どもサミット」で探究していけたらと思います。



平成25年度 大牟田市ユネスコスクール子どもサミット

1月11日(土)ユネスコスクール子どもサミットが開催されました。会場は立ち見ができるほどの参加でした。今回は、有明高専の環境問題の解決を担う「有明次世代科学クラブ」も参加しました。来賓では、教育委員の方々をはじめ、福岡教育大学教授石丸哲史先生に参加していただき、講評をしていただきました。

「みんなが住みよいまち 大牟田」を考えよう

- ① みなと小学校「広げよう、わたし達にできること」
- ② 駿馬南小学校「つながれ！ 駿馬南」
- ③ 歴木中学校「自己の生き方を見つめよう！」
- ④ 松原中学校「みんなが過ごしやすい学校づくりをしよう」

「環境都市 大牟田」をめざして

- ⑤ 白川小学校「白川の緑を守ろう」
- ⑥ 上内小学校「それゆけ！ 上内ホテル 探偵団」
- ⑦ 有明次世代科学クラブ

「ふるさと 大牟田」の すばらしさ

- ⑧ 三池小学校「歴史の里 ふる里 三池」

「世界へ！ そして未来へ！」

- ⑨ 平原小学校「つながろう 世界は一つ！」

スライドショーは、ロビーで各学校の取組を紹介しました。どの学校もすばらしい作品でした。

ご協力ありがとうございました。

【発表会の様子】



大牟田市立橋中学校の実践

キャリア教育を通して

本校のESDでは総合的な学習の時間でキャリア教育を推進しています。自己の生き方を考えることを目標に、2年生では「職場体験」を実施しました。校区内を中心に地域社会と連携し、教育・医療・福祉・接客業など28の事業所で、3日間の体験学習を行いました。取り組みの主な内容は①職場体験先め、②各職場への挨拶(電話のかけ方)③GTによるマナー講座、④事前打ち合わせ、⑤職場体験学習⑥職場体験学習のまとめ(お礼状書き・職場体験発表会・体験新聞づくりなど)です。事業所の方の親切丁寧な指導のおかげで、生徒は少したくましくなったようです。「大変だったけど、やりがいがあった」という感想が多くみられました。



大牟田市立上内小学校の実践

ホテルの里を守る活動を通して

上内校区は夏にはホテルが飛び交う地域です。しかし、その数は年々少なくなっていると地域のGT方からの話を聞きました。その原因は、上内の川が汚れてきているためなのだろうか、それともエサのカワニナの数が減っているのだろうかという課題をもちました。パックテストで川の汚れ具合や川に住む生き物を調べるところから学習を始め、実際にホテルを採って、たまごから孵化させ、幼虫を育てました。ホテルが飛び交う川を守るために、岡崎市の中学校の実践をヒントに、チラシやポスターをかって校内や地域の方に呼びかけたり、集会で自分たちの思いを伝えたりしています。



【「ホテル 新聞」を地域の人に配る子どもたち】